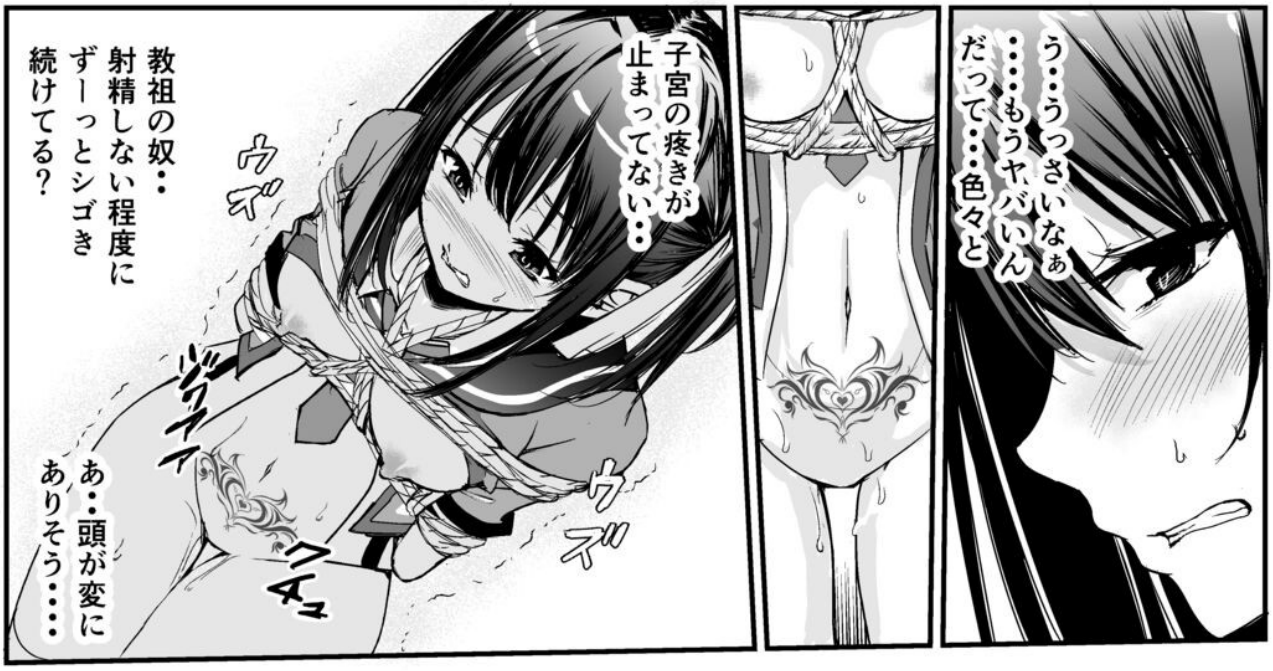
艶がり村
［つやがりむら］
五
レイドソックス
トリッキー

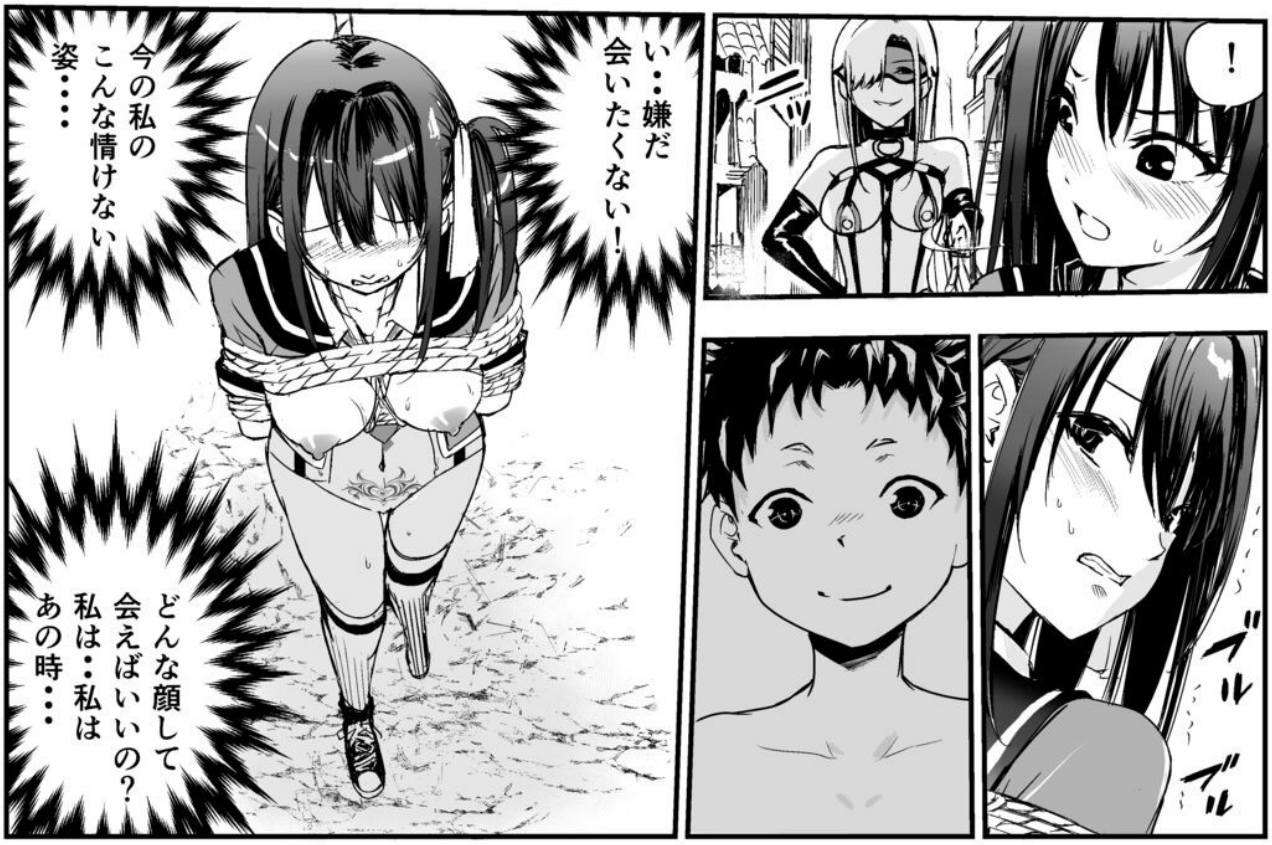
-あらすじ-
秘境探索に情熱を注ぐ彼氏と共に艶がり村へ訪れたアヤミ
ジィィ
ヴヴヴ
しかし快楽で村を支配する教祖と快感を共有する呪いを受けてしまう
村を脱出しようと
教祖に反撃を試みようとするも彼氏のナオトは行方不明

アヤミは女看守に捕まりもはや取返しがつかない程快楽漬けになりつつあった
オイオイ

小柳さん
ハーハー
ギィ
ムズ
ムズ
あらあら…
ムズムズが
止まらないって
顔ね
…
私とのエッチじゃ
物足りなかった？
大丈夫！もう
すぐ教祖様に
会わせて
あげるから！
はむ♡
ビクッ
！
ふふふ

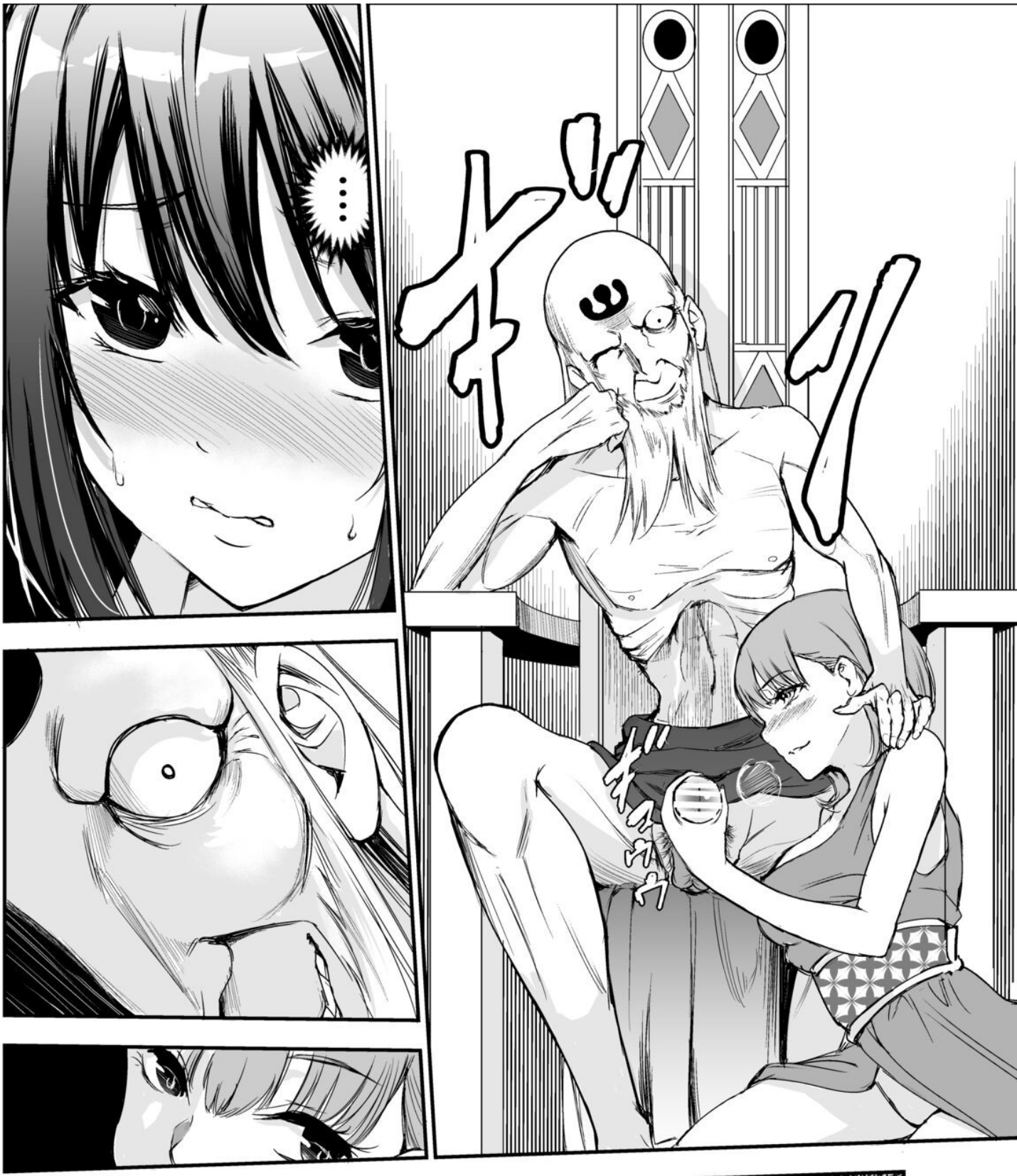

う・・うっさいなぁ
・・・もうヤバいん
だって・・・色々と
子宮の疼きが
止まってない・・
教祖の奴・
射精しない程度に
ずーっとシゴき
続けてる？
ウズ
ウズ
クネッ
あ・・頭が変に
ありそう・・・

縛られて
なかったら
今すぐオナニー
したい！
思考が・・へ
・・変になって
きてる・・・私
ねぇ・・
こんな姿見たら
彼氏のナオト君
・・どう思うだろう
ねぇ


！
い・・嫌だ
会いたくない！
今の私の
こんな情けない
姿・・・
どんな顔して
会えばいいの？
私は・・私は
あの時・・・
ブル
ブル

ナオトに助けを求めてしまった……！
腕っぷしの弱いナオトを守れるのは私だけ…
…それが私の一番の自信…役割だったはずなのに…
もう…こんな身体じゃナオトを守れないよ…
思考もまとまらない…フワフワする……
私の身体じゃないみたい……

そ・そうだ！
ナオトは？　ナオトは・・どこにいるの？
クルッ
安心しなさい
彼はアヤミを興奮させるいいスパイスだって教祖様が・・
ラオォォ
だからちゃあんと保護しているわよ？・・フフ
・・・・
そっ・・そっか・・・無事なんだ・・・よかった・・・
！


……
オッ!!

ふぉふぉ・
お早いお帰り
じゃったの
……
これは我も
予想外じゃっ
たわ
して？

なぜ村から逃げなかった？

一時でも彼氏と二人きり自由になれた

千載一遇のチャンスじゃったろう？

ん？

ナ・ナオトのため・・・

・・・・

ここに来る前まで古い文献とか漁ってこの村の想像を膨らませてた

情報が少ない村だからこそ探索し甲斐があるって・・・

世界の秘境

ここで逃げたら探索しきらないまま・・！

ナオトは純粋なんだ！

あんた達みたいなな

汚れた人間なんか踏み込んじゃいけない世界にいるんだ！

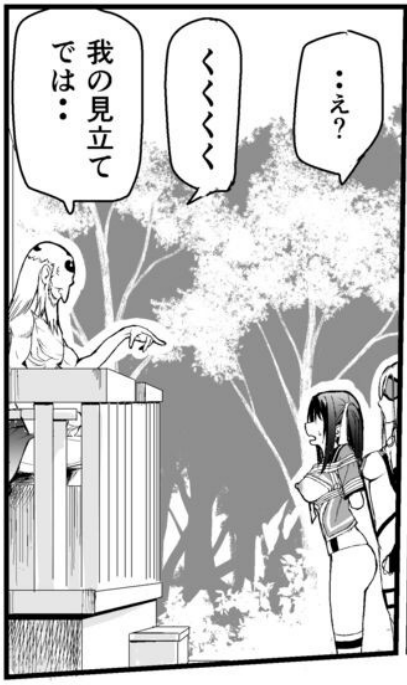
夢を追い続けて欲しいの

だから・・・

私はその背中を
支える存在じゃ
なきゃいけないの！
ほう…頑なな
想いの根っこは
ここか…
ならば…
正式に我が
巫女になれば
よい
トクトク
この村をより
知れる…
その体験を
半端者に教えて
やるのよ
ふざけないで！
あんたは私を
孕ませたいだけ
でしょ？
自分の子供を
失った想いを
引きずって
身体の相性が
いい子を巫女に
仕立て上げてる
…そうでしょ？
巫女になんか
なったらもう
ナオトと一緒に
いられない…！
軽蔑して私
から離れていく
……

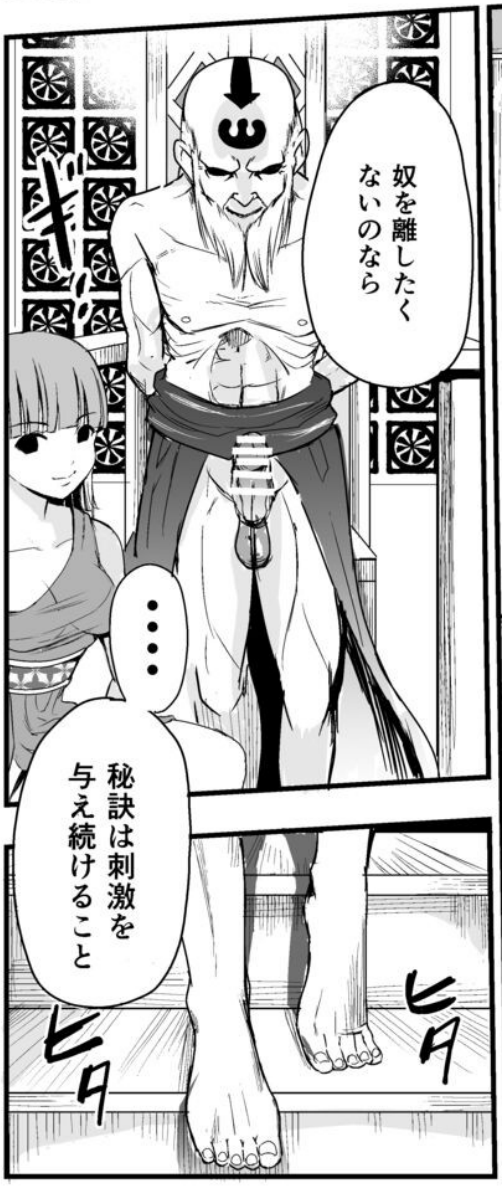
そ・・そんなの・・・嫌だよ・・・考えたくもない・・・・
考えたくないよ・・・・
ヘタ！
もうダメなの・・か・・身体が快楽に染まり始めてる・・
ブルル
でもナオトには必要とされていたい・・・気持ちと身体が喧嘩してグチャグチャになりそう・・・
だっ・・・だからお願い！・・・これ以上私達を・・・・
引き裂こうとするのは・・・止めてよぅ！
ブワッ
・・・・

本当に
そうかな？



巫女になれば
奴はアヤミを
遠くから見続けて
興奮する
そうは思わんか？

奴を離したく
ないのなら

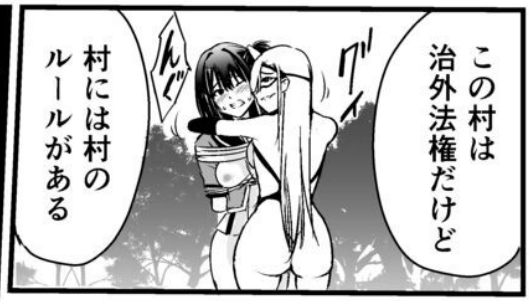


アヤミが手綱を握れ！
奴はお前が思ってる以上に
今お前に夢中なのよ
はぐぐ
わ・・私が・・手綱を・・？
くくく
そうとも
・・・・
嫉妬に狂ったあの眼差しをまた見たいであろう？
人をコントロールする愉悦・・・その景色を見せてやる

その巫女の衣装を纏いこの先の祭壇に来なさい
そこに…艶がり村を象徴する舞台が待っておるぞ？
ニヤー
なっ
フフフ

さぁ着替えよっかぁ…
アヤミー
ニマァ
じょ…冗談じゃないわよ！
そんなイヤらしい服…着るわけないでしょ！
あらあら…いいのかなぁ？そんなこと言って…

今ナオト君は
父と同じ牢に入って
るわよ？
！

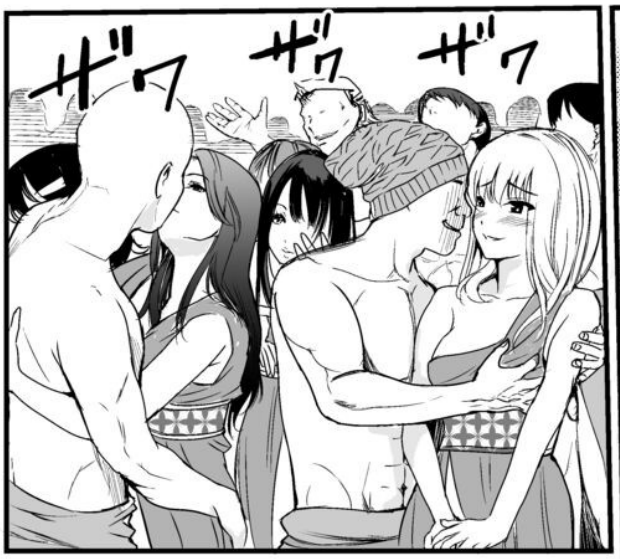

この村は
治外法権だけど
村には村の
ルールがある

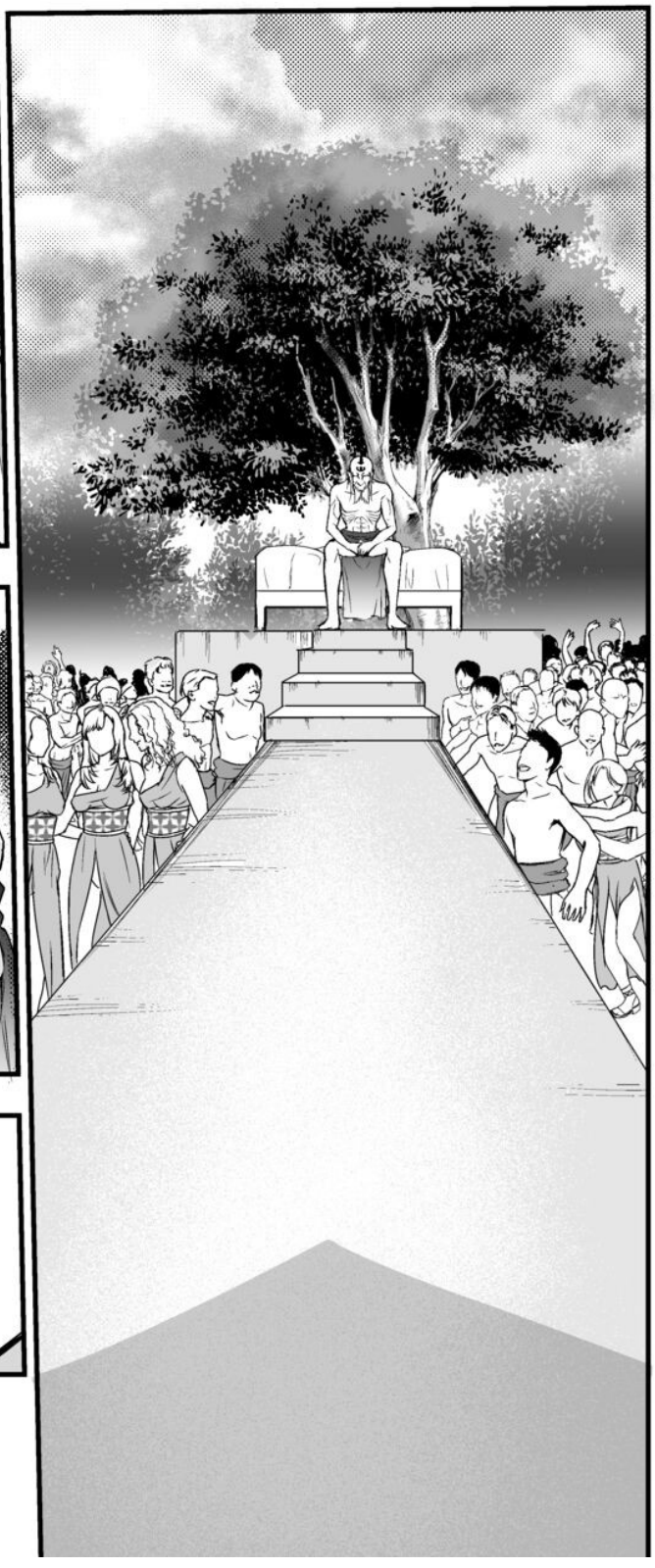
それを侵した者は
あの塔に入れられ
るのよ

そしてナオト君は
教祖様を殴り
つけた
ッ・・・
それはとてもとても
重い罪なのよ？

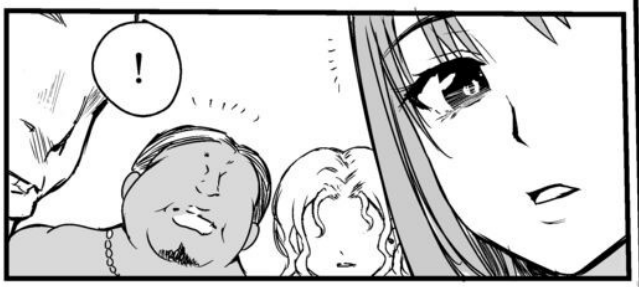
父にはもう
1年前から裸のまま
私と教祖様のエッチの
音声だけ聞かせてる
それ以外の一切の
刺激を与えて
こなかったら
いつしか私の声で
オナニーしまくる
動物になっていった
はぁん
おっ…
ビクッ
フッ
フッ
シコ
シコ

おかげで今の父は
男相手でも関係
ない…
性行為だけが
生き甲斐の
獣となった
ヒ…
フッ…フッ
ナオナオナオ
そんな父と
ナオト君は
同じ牢に…
愚図愚図して
たら彼のお尻は
どんどん拡張
されちゃう…
かも
あっ…
うぅ…
それはそれで
面白いけど…
く…
うぅ…


ザワ
ザワ
ザワ



ザワ
ザワ


！

ザワ
ザワ
ザワ
……
うぅ・・イヤらしい・・・何なのよこの恰好・・・
ドキ
ドキ
ドキ
スケスケで淫紋まで丸見え・・・乳首だって隠しきれてないじゃない
ヒヤッ
ヒヤッ
おまけにオソコも・・・切れ目入ってて生地が・・・
ゾゾッ
内股になると変に食い込んで擦れちゃう・・
フフ・・よく似合ってるわよアヤミ
完全にこの村に溶け込んでる
……

ムョイムョイ
……
ドキドキ
んぅー

かなり看守にもほぐされたようじゃな？
なっ…
汗と下半身のフェロモン臭が鼻腔を突き刺してくれるわい
ふぉほほ
ほれ
おかげで我も…
たぎってきたたぎってきた…ふふふ
…
さぁ皆も待ちわびておる
…
今宵の宴を始めようぞ？
まずはフェラじゃ
この村を知りたい彼氏のために
アヤミが身を挺すのなら
我も助力を惜しまぬぞ？
くくくく

ゴク…
あ…あれ？
何で？
私…ドキドキしてる？
昨日はあんなに嫌だったのに…？
ドキ
ドキ

ナデナデ

こ…こんな恰好の私を…
ゴクッ
み…皆が私を見てる
期待と欲望が混ざったような目で…
ま…まるで私までこの村の一員になってるみたい…
クネ
クネ

あぁ…
おちんちん…
ビクッ

そっそうだ
これも艶がり村を
知るために
仕方なく
そう仕方なく
だから…

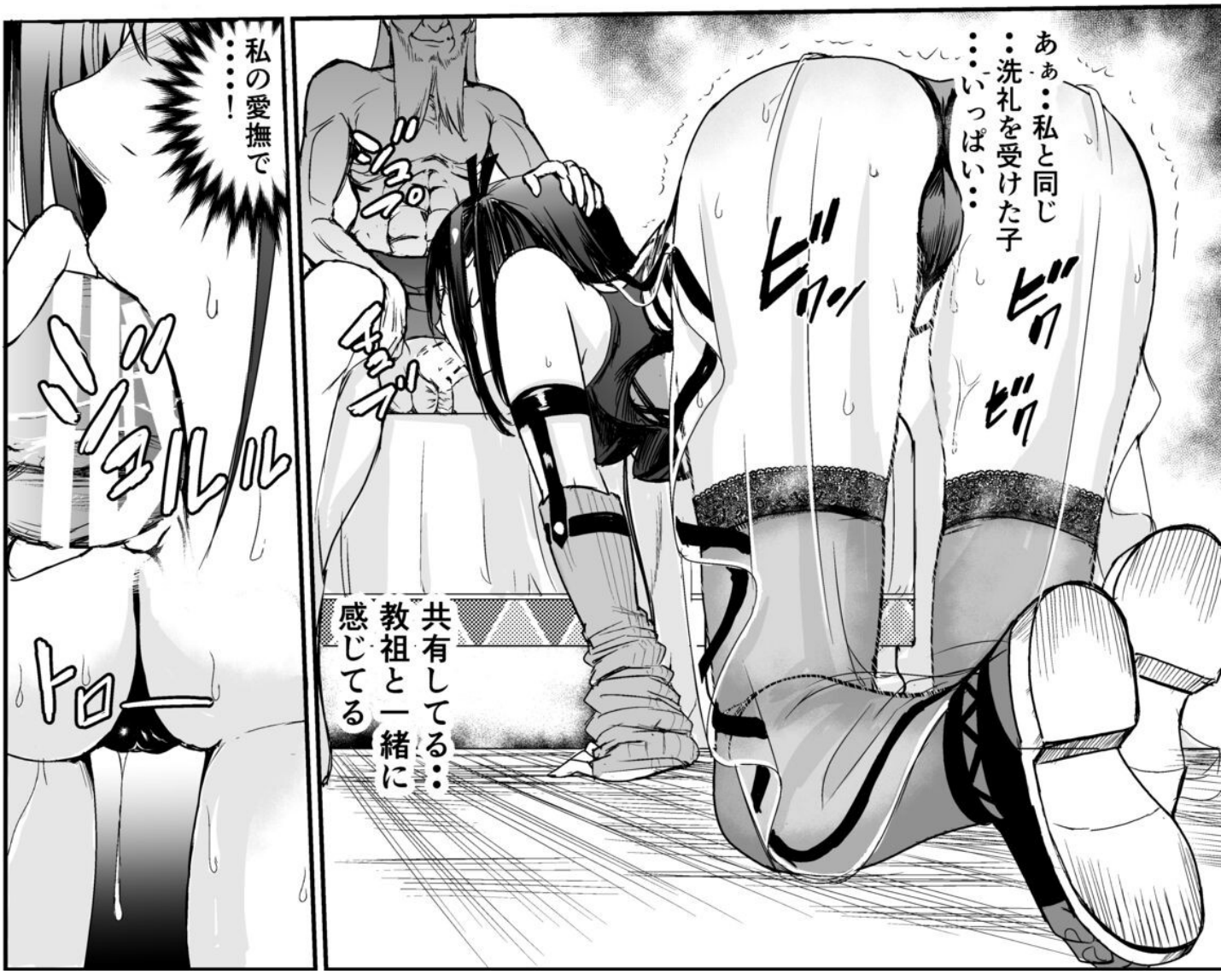
!
ビクッ

あぁ…
来たぁ!
これっ
すっごい

パクッ

ジュプ
グポ
ズルルウ

あぁぁぁ
気持ち・・
いいん
はぁ
はぁ
んっ
あっあの子
・・・すっごい
上手ぅー！


あぁ・・私と同じ
・・洗礼を受けた子
・・・・いっぱい・・
ビクン
ビクン
共有してる・・
教祖と一緒に
感じてる
私の愛撫で
・・・・！
ジョルル
トロー

ハァ
ペロ
ハァ
ハァ
ジュル
ジュル
ふぉほ
どうじゃ？
自分の舌遣いが
自分に帰ってくる
感覚は
ハァ
格別じゃろう？
ハァ
ジュル
ジュル
トロー
！
ビク
ビクン
あ・出る
…もう？
は・早いよ
せーし
出しちゃう…！

あっ！
イグイグっ
イグーッ！
イグイク
イッてる！
ビクビクビク
ああぁぁん
あっはぁ
イク
いっちゃう！
ブルル
イグ
イク
んはぁぁ
ジワ
ジワ
ビク
ビク
ジワ
ジワ

どうじゃ？
我が淫紋の
効果は
・・・・
皆同じタイミングで
絶頂しておる
お布施をして
まで巫女に
なりたがる理由は
正にコレよ
大勢でいるほど
共有効果を
実感できるじゃ
ろう？

ほれアヤミ
よ・・
次はどうする？
・・・・
ん♡
んむ
はむ

もっと自分から
教祖様とエッチ
すれば・・・ナオト君も
興奮するよ？
ブル
ブル
……
ギシ…
ブラ…
ギシ
ハァ
ハァ
ハァ
クチィ
クー
クー

ヒクッ
ヒクッ
キュン
あ・・だっダメ・・・何・・やって・・・・・
入れちゃ・・ダメ・・止まってアヤミ・・・！
ムズ
ムズ
ここで屈したら・・・ホントに取り返しつかない気が・・・・
あぁ・・・でも・・・・・
でも・・・
ゾクゾク

あの時のお尻の穴まで痙攣するほどの快感・・・・・もう一度
ハッ
ハッ
ズズ
だっダメよ・・！ナオト以外の男とエッチなんて・・・・・絶対にダメ！

あぁーもう
入れたい！
入れたい！
入れたい！
入れたい！
入れたい！
い・・・いいよね？
ナオト・・・
この村を知る
ためだもん！
きっと・・・きっと
喜んで・・・
くれるよね？

ニッ
ビュッ
ビクッ
ビクッ
おっおおおおお
あ♡
キュン
S

……っ
ズボッ
ズボッ
！
……
来てる
来てるー
あっはぁ
あ
あ…は
はは…は
す…すごっ
きもち…きもち
ィィん

どうじゃ？
今アヤミがこの
村を快楽で
支配しているよう
じゃろう？
洗礼を受けた
周りの女子(おなご)の
喘(あえ)ぎ声が木霊(こだま)する
アヤミが腰を
振れば
これこそが
愉悦の景色！
巫女の狂宴！
これが
艶がり村！

これこそが艶がり村の醍醐味よ！
わ・私が支配している・・？
こ・こんなに気持ちいいことを・・？
こ・・これが・・・・

ウヒイイヒ…
ズッ
ヴォッ…
ギュ
ボッ
ビクッ

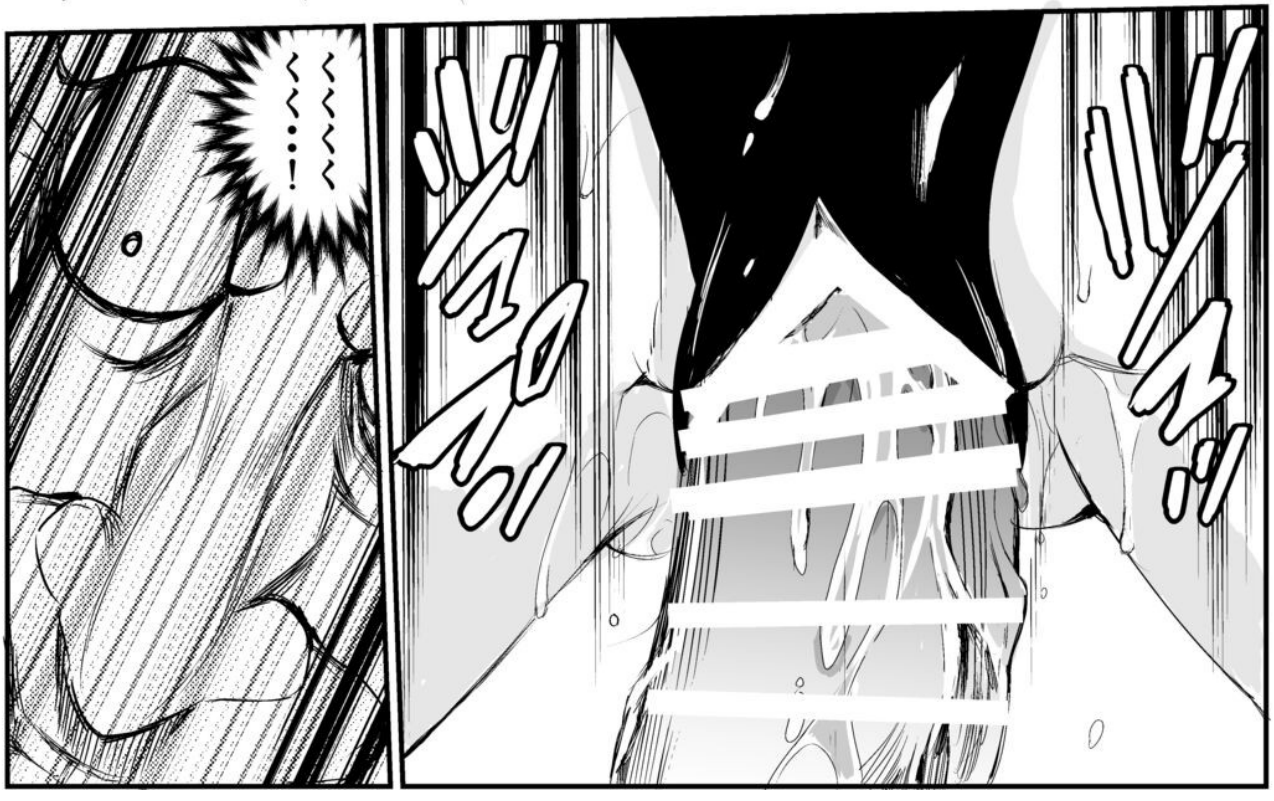
ヒヒヒ・・・
すっかりこの村の
顔になったのう
この貴重な体験は
彼氏も喜ぶぞ？
ん〜
あ・・ぁぁ
そ・・そうだ
ナオトに・・
教えなきゃ・・
この村・・・
ズキュララ
この村イイ・・！
すっごくイイって・・・！
ビクッ
ビクッ

あぁん！
教祖様ぁ！
出ちゃうー！
出ちゃうよせーし！
フォホ！どこに出すんじゃ？
自分で決められるぞ？
ここで中に出せばまた淫紋効果が4日は消えんぞ？
アッ
アッ
それでも我が洗礼を受けたいなら誓いを立てよ！
巫女になる誓いを！
……

この先も我が精子だけを受け止め他の男とのエッチを禁ずることを
……
決して破らぬ誓いをこの村人達に聞こえるように宣言するのじゃ
あ・あぁ
も・もうなんでもいいです
……
巫女でもなんでも
こんな体験…止められない

では誓うのか？
ち・誓います！
アヤミは教祖様と
だけエッチします！
これからは村の
一員として・・
教祖様だけの
中出し巫女に！
絶対破りません！
だっだからぁ・・

！
いっぱい出して！
赤ちゃん部屋に・・
上書きして！
教祖様の・・
洗礼・・！


くくくく
くく・・！

ああああぁぁぁ
くるくるくるくる
くるくるくるくる
来るうぅぅぅ
イクイクイクイク
イグイグイィィ
凄いのがあああ
ががががががが！
ビクビク
ビュルル
ビュッ
ドル

あぁ
アハ
あ・はっ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ゴポ
ゴポ
ジュワ
ビクビクル
いっくぅん
で・出てるうぅぅ
いっちゃうぅ
イクッ
ビクッ
ビクッ
ヒクヒク

あぁ素敵ィイィイ…！
はぁ
はあっ
ヒヒヒヒ
良く頑張った
のぉアヤミよ
あっはっ
これでお前も
正式に村の
一員よ
ビュル
ドプ

気に入ったかのぅ
アヤミよ？
我のイチモツは
あぁん好きっ
好き好きィー！
教祖様ぁ
ああ♥
おちんぽ・
抜くのやぁぁ
おま○こもっと
する・・・もっと
・・もっとぉ♥
くくく
よしよし
今夜は村の
一員となった
祝いじゃ
夜通しちんぽ
漬けにしてやる
あっ♥

明日からも毎日
毎日毎日・・・
なあに・・我をより
深く理解するための
手段と思えばいい
あの半端物に
教え込ませてやれ
・・アヤミ自身で
体験したこの村の
ことを・・！
は・・は・・い！

END

あとがき

この度は艶がり村5をご購入いただき
誠にありがとうございます。
今回はモブキャラがどうしても大量に
描かないといけなかったので
滅茶苦茶大変でした。タイトルの象徴とも言える
描写になる回だったので、その分
読み応えがある物でありたいと思いひたすら描き続けました。

一応ここで終わりではありません。
アヤミ編としてはここが区切りに
なりますが、次回は別の視点から
皆様にお楽しみいただこうと思ってます。
もう少しで終わると思いますが、最後まで
お付き合いいただけたら嬉しいです。
ではではまた次回お会いしましょうー！
良かったらtwitter,pixivのフォローヨロシクですー

Twitter id:nao3675

Pixiv id:29431100